

## 平成 21 年度 NPO 法人北海道遺産協議会事業計画（案）

### 1. 基本的な考え方：

#### （1）NPO 法人北海道遺産協議会の基盤づくり

- ・平成 13 年度の設立以来、北海道遺産構想を推進する活動を続けてきた任意団体・北海道遺産構想推進協議会は、平成 19 年度臨時総会において、特定非営利活動法人格を取得することが承認され、平成 20 年 9 月に申請手続きを提出。12 月 5 日に特定非営利活動法人として認証され、本年度平成 21 年 4 月より NPO 法人北海道遺産協議会としての実質的な活動を開始し、任意団体は平成 21 年 3 月 31 日に手続き上解散いたしました。
- ・この組織変更により、これまで北海道遺産構想を支えてきていただいた応援団、正会員、そして賛助会員組織も一度解散し、現在、新たな会員組織の構築と会員募集を行っています。
- ・本年度はこうした会員組織の整備、会員相互の交流による連携づくり、効率的な事務局運営の方法についてなど、北海道遺産構想に向けた組織運営の基盤づくりを活動の柱のひとつとします。

#### （2）情報発信と今後の活用に向けて

- ・NPO 法人化を機に、改めて会員組織の交流・連携を促進する取組を実施します。本年度は会員・遺産選定地域等関係者・旅行会社等が参加、交流・連携による地域活性化を検討する交流会議を行う予定です。
- ・前述のとおり応援団のスキームがなくなったことから、活動資金の大きな減額が予想されます。情報発信や、北海道遺産構想に関する調査等については、前年度拡充したホームページを軸として発信していきます。
- ・メディアにいかに情報提供を行い、取り上げられるかが課題となっています。メディアの注目度により、北海道遺産やムラの宝物の商品造成の可能性・会員募集の可能性が大きくなると考えられるため、今後より一層、メディア向けの企画提案やプレスリリースに努めていきます。

#### （3）ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクトについて

- ・平成 19 年度より募集を開始した本プロジェクトは、昨年度「ムラの宝物」として登録をし、公式ホームページ上でデータベースを公開しました。
- ・現在、全 188 件（56 市町村・エリア）が登録され、マスコミ等（後述・および別紙参照）からの問い合わせも数多く寄せられています。
- ・今後、より一層の呼びかけを行い、北海道の地域資源のデータベースとして認知されるものにステップアップをしていくとともに、一定の件数の宝物が集積されてきたことから、それらを活かした観光商品造成、商品販売事業などの活用検討を開始します。

#### (4) 商品の販売や企業等とのタイアップ企画、事業受託等の取り組みについて

- ・北海道遺産が一定の認知度を得たこと、またムラの宝物が第2次登録まで行われたことにより、新聞・テレビ等でご紹介をいただく機会が増えました。今後イベントへの参加機会の増加も考えられるので、その機会を有効に活用しPRや商品の販売に努めます。
- ・前年度は、全道のコンビニ（協力：北海道＝セブンイレブン・セイコーマート・サンクス）でガイドブック・DVDの販売が実施されました。今後もこうした取り組みを継続し、新たな販路の開拓を検討していきます。
- ・昨年度、好評を得た「北海道遺産スタンプラリー」を本年度も実施します。事業費は、参加企業にもご負担をいただき開催予定です。
- ・また、本年度は緊急雇用事業等の公募が数多く出される可能性があります。こうした公共団体等の企画公募には積極的に応募をしていきます。現在、本協議会単独で札幌市の公募企画に1件応募中、北海道の公募プロポーザル企画については1件、コンソーシアムによる企画案を作成中です。

## 2. 各事業について

### (1) 普及啓発活動事業

#### 「北海道遺産スタンプラリー」(8~12月)

昨年度、札幌市内と江別市の12の北海道遺産を巡るスタンプラリーを開催し、多くの参加者を得た。本年度は食とお酒の魅力をメインテーマとした、大人向けの北海道遺産スタンプラリーを開催する予定である。

○800千円

\*「(昨年度)北海道遺産スタンプラリー チャレンジBOOK」参照

#### 「パンフレットの増刷」(7月)

昨年度リニューアルした北海道遺産概要パンフレットの残部がわずかとなったため、NPO法人への組織改編に伴って、一部文言の修正を行い増刷を実施する。

○400千円(4C、A3・4つ折、25,000部)

\*「北海道遺産パンフレット」添付

#### 「北海道遺産DVD」と「公式ガイドブック」の販売(通年)

全道主要書店、開拓の村記念館ミュージアムショップ、中央バス大通バスターミナル2階パネル展示会場、事務局での販売を継続して行う。

また、北海道遺産の選定地域を初めとし、委託販売等の販路拡大に努める。

○50千円

#### 「ホームページでの情報発信と管理運営」(通年)

正会員・賛助会員の入会特典として、ホームページへの企業・団体名、個人名等の掲載を実施するため、ページを増設する。

あわせてメールニュースの発行、事務局ブログの継続など、ホームページ・メールなどを活用して、多様な情報をタイムリーに発信する。

○200千円

### 「ニュースレターの発行」（年3回程度を予定）

これまで「北海道遺産情報誌」を発行してきたが、本年度より手づくりのニュースレターを制作。地域から寄せていただく情報を編集し、正会員・賛助会員・関係者等に送付する。

○120 千円

### 「イベントへの参加」（随時）

各種イベントへの出展など

○50 千円

## （2）地域活動促進支援事業および地域とのタイアップ事業

### 「北海道遺産所在地域の取組および観光客受入体制等の情報更新」

#### 「地域活動の取材および発信」

#### 「北海道遺産選定地域概況調査」

（7～8 月頃）

北海道遺産選定地域の現況・予定・今後の方針、また遺産選定後の変化の有無や状況について調査を実施し、寄せられた情報を元に以下の情報公開やPR活動、今後の検討を行う予定である。

- ・ホームページ上にイベントカレンダーを増設し、イベント予定がわかりやすくなるよう掲示する。
- ・昨年に続き、北海道遺産の活用事例や地域イベントなど、選定地域での活動や物語などで特徴的なものをピックアップしたうえで、事務局による取材を行い、「北海道遺産地域の活動の物語」などの特集記事を不定期掲載する。
- ・調査概要はとりまとめ、地域にフィードバックするとともに、一部の概要をホームページで公開する。これらのデータを今後の北海道遺産構想の事業展開を検討するための基本データのひとつとする。

○地域の取組および観光客受入体制等の情報更新（イベントカレンダーの設置など）

50 千円

○地域活動の取材および発信

200 千円

○北海道遺産選定地域概況調査

100 千円

### 「北海道遺産を学ぶ講座&現地見学」（9～10 月頃）

一般市民を対象とした北海道遺産を学ぶ講座を開催する。講座は「講義+現地見学」を基本とし、知識だけではなく、実際に目で見て体感できるようなものとする（1 回あたりの参加費は 5,000 円、募集人数は 25 名程度を想定）。実施にあたっては、選定地域等と連携しながら、今年度は試験的に 2 回程度開催し、状況を見ながら、次年度以降地域や回数など拡大を図っていく。

○250 千円

### 「交流会議の開催」（11 月頃を予定）

北海道遺産選定地域、ムラの宝物登録地域、正会員、賛助会員の皆さんと旅行会社等にもご参加いただき、地域資源利活用の現状と課題や今後の展望、事業化の検討と課題などについて

て、講演会や意見交換等の開催を予定。また会場には地域のリーフレット等を配置し、地域の皆さんが旅行会社等に対し、広く情報を発信する場となるよう、あるいは地域間の連携による広域観光づくりのきっかけとなるよう、ミニ見本市のような情報交換の場とすることを想定している。

○100 千円

### (3) 保全活用推進事業（ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト）

北海道遺産構想の趣旨を全道に普及する取り組みとして、平成 19 年度より応募を開始した「ほっかいどうムラの宝物プロジェクト」では、昨年度 3 回の実行委員会を開催し、第 2 次登録まで終了。ムラの宝物 188 件をデータベースに登録し、公式ホームページで公開している。本データベースは、所在地エリア・ジャンル・キーワード・フリーワードで検索をかけられ、各データの詳細を見られる構成としている。

#### ◇現在の登録数

- ・188 件（平成 21 年 6 月現在）（内訳については「平成 20 年度事業計画」参照）

#### ◇掲載・問い合わせ等の状況

①新聞等記事掲載（「平成 20 年度事業計画」参照）

②テレビ取材・問い合わせ

- ・NHK 札幌放送局：NHK まるごと北海道取材（4/29 放映）

辻井会長、

ムラの宝物実行委員（CB ツアーズ社長）

戎谷侑男氏出演

- ・NTV「ケンミンショー」：「エスカロップ」、駄菓子感覚「美唄のやきそば」について



#### ◇今年度の活動

- ・将来的に、500 件程度の登録を目標とし、今後も引き続き随時応募を受け付け、データベースの拡充を図る。
- ・本年度は 2 回前後の登録審査会をもつ予定である。
- ・第 2 次登録までで、宝物 188 件と一定の集積を得たので、実行委員会による観光商品造成・商品化等の検討を開始する。

○1,400 千円

**応募\*は随時受付中！**登録後の宝物は公式ホームページで情報発信しています  
タカラモノを探しに出かけよう！～北海道遺産第2章～

## ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクトのご案内

夏休みに向けて、第3次登録審査会を7月頃に開催予定です！

### ●プロジェクトの目的

「北海道各地の宝物を掘り起こし、発信し、活用することで、地域やまちの魅力を創造していく」という北海道遺産構想の趣旨を全道へ波及させることです。

### ●応募のジャンル

#### 「ムラの宝物」

自然、歴史、文化、生活、産業、人など広い意味での地域の自慢

#### 「ムラの売りもの」

特産品等、地域が自信を持っておすすめするもの

#### 「ムラのごはん」

地域の新メニューや食文化

#### 「ムラの宝物の発掘・活用」

地域学や地域遺産の発掘、地域再生プロジェクトなど地域の宝物の発掘・活用事例

### ●現在の「ムラの宝物」登録数は188件！



朝日新聞・北海道新聞など新聞各紙やNHK「まるごとニュース北海道」等でご紹介いただきました

### 例えばこんなタカラモノをおまちしています

～複数応募もちろん可能。既に登録されている宝物のライバルも大歓迎！～

- ・1つのものに限らない、テーマでの応募（例：坂道10選、雪景色10選など）
- ・タイトルのつくもの（例：ナンバー1、オンリー1、元祖・本家、日本〇番、など）
- ・形のないもの（例：空気がきれい、寒い、晴れる、いい匂い・・・など）
- ・「びっくりする、あきれる」ような思わず笑ってしまうもの
- ・実はスゴイ人（例：漬物名人、語り部・・・など）

### 今後の展開について

#### ●より使える、読みたくなるホームページへ

登録数を引き続き増やし、データベースを拡充。宝物をさまざまな切り口で特別記事にまとめ、より充実したホームページを目指します。

#### ●情報を集めるだけでなく、活用促進アイデアを検討していきます

観光や地域活性化の専門家で組織する実行委員会や北海道遺産関係者を中心に、今後の活用方策を検討し、地域活性化を目指します。

\*現在、応募者は自治体・観光協会・商工会議所・商工会に限定しています。  
企業・団体・個人の皆様からのご応募は上記応募者と協議をお願いいたします。

詳細は「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクトホームページ」  
<http://www.hokkaidoisan.org/muranotakara/index.html>  
をぜひご覧ください！

#### (4) その他事業について

##### ■会員募集について

###### ◇北海道遺産選定地域の法人正会員加入のお願い

遺産選定地域とより強い連携をもち、北海道遺産構想を推進するため、正会員もしくは賛助会員として入会をお願いする。

###### ◇従来の応援団企業・団体、正会員への法人会員加入のお願い

応援団・正会員としてご協賛、ご支援をいただいている企業・団体に対して、正会員もしくは賛助会員として継続的なご支援をお願いする。

###### ◇賛助会員加入のお願い

これまでに賛助会員として、加入をいただいたことのある皆様に改めて加入をお願いする。

###### ◇現在の会員募集呼びかけと入会状況

項目	会員募集資料発送 ・配布件数	入会件数	
		正会員	賛助会員
正会員	7件		
応援団	16件		
北海道遺産選定地域・団体	108件	団体12件 (うち市町村4件)	
ムラの宝物登録地域	76件		
その他市町村	99件		
旧・賛助会員	306名	団体1件	個人24件 団体5件
商工会	184件		
商工会議所	41件		
観光協会	105件		

##### ■正会員一覧 (6月24日現在)

###### ◇市町村

上士幌町 / 増毛町 / 浜中町 / 別海町

###### ◇団体・協会

昭和新山国際雪合戦実行委員会 / 北海土地改良区 / 北海道和種馬保存協会  
特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団 / 医療法人社団宮崎整形外科医院  
十勝川温泉旅館組合

###### ◇企業・その他

北海道旅客鉄道株式会社 / 福山醸造株式会社 / サッポロビール博物館

#### ■会員特典サービスと会員証の発行

本年度より順次会員サービスを実施する予定。北海道遺産選定地域・企業等にご協力をお願いを行う。（＊議案資料1：35P参照）

なお、特典サービス利用に備え、プラスチックカードの北海道遺産会員証を用意し、正会員・賛助会員共に配布する。

○100 千円

#### ■北海道遺産カードの検討

課金型会員カードの導入を検討する。社会貢献型クレジットカードとして、買い物額のうち数%、北海道遺産への寄付が行われるもの。現在カード会社において企画を検討中である。

#### ■事業受託企画の検討

本年度は公共団体より、観光庁関連事業や、緊急雇用事業、ふるさと雇用対策特別対策事業等の公募が数多く出される可能性があるため、こうした企画・助成金公募には積極的に応募をし、事業収入を得られるよう努める。

#### ■商標登録の実施

北海道遺産ロゴマークの商標登録を実施する。北海道遺産のブランド化をすすめ、他者の乱用を防止し、ロゴマークの有料化（使用目的による）検討を目的とする。

○100 千円